

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

安全・安心なブロック塀を構築するためブロック製品の標準化を目指し、消費者や施工者、取引先など全てのステークホルダーの満足度や適正利潤を追求する活動を推進すると共に、環境と共生しながら地域社会の発展に向けて貢献する企業を目指す。

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	環境対策は世界共通の必須課題であり、ブロックの製造を通じて地域環境保全に貢献するあらゆる活動を推進してまいります。	・プラスチックごみ排出量30%減 (2024年3.5t→2027年2.5t) 2023年 4.6t(月平均0.38t) 2024年9月迄 2.6t(月平均0.22t) 0.29t×12ヶ月=3.48t 2024年3.5t予想 ・ペーパーレス化の実施済み 請求書や公文書のデジタル化実施済み ・雨水装置による水保全実施 畜込防止の散水に使用 散水能力 0.74ℓ/min、使用時間 60分/日、使用日数 20日/月 0.7ℓ×60分あつ蹴る12ヶ月=10,656ℓ(10.7t) 雨水を利用し、役10.7tの水保全を実施
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	地域と連携して積極的に社会貢献活動に参加し、地域社会への持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。	・地域の自治会活動への参画 ・会社周辺の清掃活動実施済み等 2023年2回→2026年4回 ・近隣小学校への花の寄贈→図書寄贈へ変更 ・2024年10月長嶺小学校へ5万円分の図書寄贈済み ・子供を支援する協賛活動 2024年8月出2町内自治会による夏祭り協賛済み
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	自社の製品を通じて安全安心な社会を構築することによりお客様の豊かで幸せな人生に貢献することに努めてまいります。	・品質管理体制の徹底を実施 ・品質管理責任者による日常業務の検査、データ保持の徹底 ・業務に必要な免許・資格取得 ・2023年1件→2026年2件 ・熊本県産材の活用促進の実施 ・県産地の材料の購入実施済み

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標と、現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。(例:採用の人数:2023年〇人→2026年〇人)更新時には実績を報告する必要があります。

<パートナーシップ>

安全安心な製品開発に向け製造業者である自社と消費者や施工者、取引先との間に信頼関係を構築すると共に、企業内部においても従業員一人一人が働きやすい職場環境になるよう整備を図る。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	環境対策は世界共通の必須課題であり、ブロックの製造を通じて地域環境保全に貢献するあらゆる活動を推進してまいります。	・プラスチックごみ排出量を50%減。(2020年6t→2023年3t)廃プラの排出削減を実施 ・ペーパーレス化の実施 ・雨水利用での水保全を実施
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	・前期の指標は全て実施済み ・製品の材料を見直し、脱炭素に向けた取組が実現できた。 ・生産性効率化を図ることができ、動力費の削減ができた。	・電気使用による排出 ・CO2排出量 85,668→77,294 10%削減 ・2023年 211,004kwh → 2024年1~9月 142,789kwh(平均15,865kwh) ・2024年(見込み) 15,865×12ヶ月=190,380kwh ・CO2排出量=電気使用量(kwh)×CO2排出係数(kg=CO2/kwh) ・2023年 211,004kwh×0.406=85,668 ・2024年(見込み) 190,380kwh×0.406=77,294 ・よって、10%減
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	地域と連携して積極的に社会貢献活動に参加し、地域社会への持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。	・地域の自治会活動への参画 ・近隣小学校への寄贈実施 ・子供を支援する協賛活動実施
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	・長嶺小学校に図書寄贈を5万分行った。 ・世界的に撲滅しなくてはならないポリオ活動に対し10万円の寄付を行った。	・2023年ポリオワクチン寄付10万円 →2024年ポリオワクチン寄付10万円と図書寄付5万円で15万円
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	自社の製品を通じて安全安心な社会を構築することによりお客様の豊かで幸せな人生に貢献することに努めてまいります。	・品質管理体制の徹底を実施 ・業務に必要な免許・資格取得 ・熊本県産材の活用促進の実施
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	・職人の作業効率と施工品質の標準化を可能とする製品開発により、安心安全を確保した製品の製造販売が出来た。 ・雇用の拡充などに取り組み、目標を達成することができた。	・地震によるブロック塀の倒壊の一番の原因である基礎の標準化としてベース筋ブロック、台風によるフェンス損傷の一番の原因であるブロックの改善策とした新製品としてSQJI-CBの開発。 ・前期無し→2024年新製品開発 ・雇用の拡充などに取り組み、目標を達成することができた。 ・2023年2名(目標)→2024年3名(実績)

「三側面」「前期のSDGsに関する重点的な取組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」をそのまま転記してください。
・「取組みの進捗状況」には、取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。
・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する実績を数値を用いて記載してください。